

まちづくり交付金 事後評価シート  
南町宮崎町線沿道地区

平成20年12月

千葉県千葉市

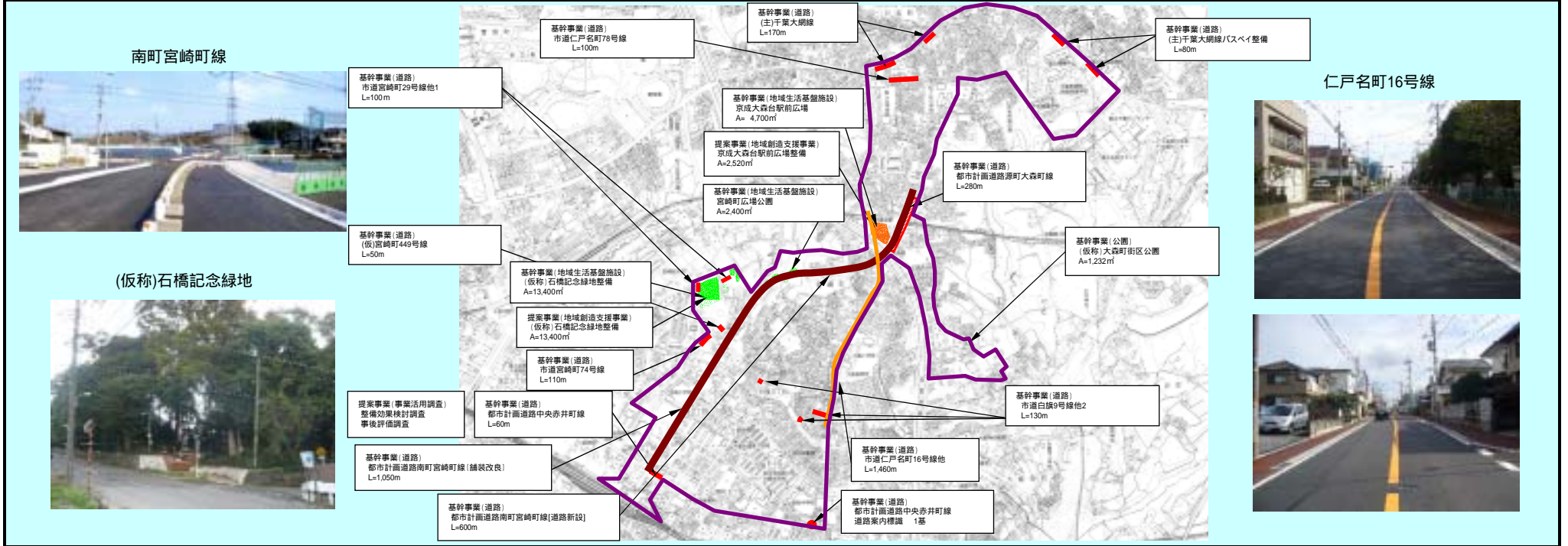
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	千葉市	地区名	南町宮崎町線沿道地区		面積	140.9ha			
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	3377百万円	国費率	0.4		
1) 事業の実施状況	事業名										
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	都市計画道路南町宮崎町線整備事業、都市計画道路南町宮崎町線整備事業、都市計画道路源町大森町線整備事業、市道仁戸名町16号線他整備事業、京成大森駅前広場他整備事業								
		提案事業	京成大森駅前広場整備、整備効果検討調査、事業効果分析								
	当初計画から削除した事業	事業名									
		削除/追加の理由									
		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響									
新たに追加した事業	基幹事業	1.京成大森駅前広場整備事業 2.道路環境改善の活動推進									
	提案事業	1.主要地方道千葉大綱線整備事業、都市計画道路中央赤井町線整備事業、都市計画道路中央赤井町線道路案内標識整備事業、市道宮崎町74号線整備事業、(仮称)市道宮崎町449号線整備事業、市道宮崎町29号線他1整備事業、市道仁戸名78号線整備事業、市道白旗9号線他2整備事業 2.主要地方道千葉大綱線バスベイ整備事業 3.(仮称)大森町街区公園整備事業									
交付期間の変更	当初	平成16年度～平成20年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期
	指標1	二次医療施設へのアクセス向上	分	12	H16 6 H20 20	モニタリング	評価値		あり	目標ルートである南町宮崎町線は、用地買収が難航しているため、全面供用に至らなかった。しかし、従前ルートである仁戸名町16号線の歩行空間整備により、若干ではあるが時間短縮された。	平成21年5月
	指標2	地域コミュニティ活動の定着	人	0	H16 200 H20 0				あり	活動の場を期待した南町宮崎町線整備事業が用地買収難航により進捗せず、活動の実施に至らなかった。しかし、活動の実施に向け、懇談会の委員の方々を中心に活動の推進を行っている。また石橋記念緑地の整備につき別途ワークショップを開催し市民の意見を反映している。	平成21年5月
	指標3	バス利用者数の拡大	人	140	H16 280 H20 140			x	あり	大森駅前広場整備事業が用地買収難航により進捗せず、バス利用者数は現状維持にとどまった。	平成21年5月
	指標4	放置自転車の減少	台	193	H16 0 H20 193				あり	駐輪場の利用環境改善を見込んでいた駅前広場が用地買収難航により完成しなかったが、注意喚起看板等の設置により違法駐輪者への効果があったと考えられる。	平成21年5月
	指標5	一人当たりの公園面積(大森町)	m <sup>2</sup> /人	0.59	H16 0.87 H20 0.59				あり	(仮)大森町街区公園を整備したことで未達成ではあるものの目標値近くまで指標を改善することができた。	平成21年5月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	公園緑地面積の拡充	%	2.4	H16			3.8		災害時の避難場所になりうる公園・緑地の新規整備により、地区内の安全で快適な生活環境の向上を図ることが出来た。	平成21年5月
	その他の数値指標2	事業に対する地域住民の認知度	自治会	0	H16			89		地区内及びその周辺の自治会に懇談会の情報を提供し、共通認識を促すことにより、地域コミュニティの連携の向上が図れた。	
	その他の数値指標3	地域間における空白エリアの住居増加	戸	788	H17			926		南町宮崎町の整備に伴い、宅地開発が行われ、新たに居住空間ができたことにより、地域コミュニティの連携の向上につながる。	平成21年5月
	その他の数値指標4	大森台駅乗降者数	人	2,668	H16			2,794		駅乗降者数が増加傾向であり、周辺道路の整備のによる交通結節機能が向上している。	平成21年5月
	その他の数値指標5	大森台駅に通じる既存主要道路の歩行空間の平滑化	%	33	H16			90		既存主要幹線の大森台駅までの移動経路における歩行空間を平滑化することにより、円滑な移動が可能になり、交通結節機能の向上が図れた。	
4) 定性的な効果発現状況	公園緑地の整備により地域コミュニティの場が提供できた。まちづくり懇談会の開催により、まちづくりの情報を地域に広く提供でき、住民のまちづくりに対する意欲も向上した。										
5) 実施過程の評価	実施内容										
	実施状況										
	今後の対応方針等										
	モニタリング	交付期間中(中間期)におけるモニタリングの実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた。都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した。都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった。				事業の途中段階においても、改善状況を容易に確認できる指標設定を行う。		
住民参加プロセス	南町宮崎町線沿道地区まちづくり懇談会			都市再生整備計画に記載し、実施できた。都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した。都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった。				これまでの検討内容や整備状況を踏まえ、懇談会を継続する。(3回程度/1年)			
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり懇談会の設立と定期開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた。都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した。都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった。				住民の直接的な意見を聞く場とし事業中だけでなく、今後も定期的に懇談会を開催し持続的な組織への移行を図る。			

## 様式2 - 2 地区の概要

南町宮崎町線沿道地区(千葉県千葉市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
地区内都市軸の形成と交通環境改善による、生活環境の向上 目標1: 地域コミュニティの連携 目標2: 安全で快適な生活環境の形成 目標3: 交通結節機能の強化	二次医療施設へのアクセス向上	単位:分	12	H16	6	H20	10	H20
	地域コミュニティ活動の定着	単位:人	0	H16	200	H20	24	H20
	バス利用者数の拡大	単位:人	140	H16	280	H20	146	H20
	放置自転車の減少	単位:台	193	H16	0	H20	103	H20
	一人当たりの公園面積(大森町)	単位:m <sup>2</sup> /人	0.59	H16	0.87	H20	0.84	H20



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動を支える基盤として地区内の自治会長等から構成されるまちづくり懇談会を立ち上げ、地域代表者による定期的な活動が行えた。</li> <li>・駅前広場整備に必要な用地のうち、鉄道事業者以外からの取得を完了し、整備条件を整えた。</li> <li>・生活道路の整備及び地域の主要道路である仁戸名町16号線の歩行空間を改善し、車両・歩行者通行の阻害要因を減少させたことにより、緊急車両等の走行環境が向上していると考えられ、防災環境の向上にも寄与している。</li> <li>・懇談会の会員は高齢者が多く、懇談会を軸とした道路環境改善等の活動を行っていくには、かなりの負担である。このため、活動のキーパーソンとなる若手の懇談会への参加が必要になってくる。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり懇談会を定期的に関係・継続させていく。</li> <li>・道路を快適に利用できる環境を維持する。</li> <li>・懇談会役員等によるコミュニティ活動の推進、イベント等を開催しコミュニティ活動へのきっかけづくりなどを行い、地域コミュニティの定着を図る。</li> <li>・交通結節機能の強化・放置自転車に対する抜本対策として駅前広場の整備を早期に進める。</li> <li>・災害時における緊急活動を円滑に行えるよう、生活道路の有効幅員の拡大、未舗装道路整備等を行い防災環境を向上させる。</li> </ul>